広島がん高精度放射線治療センター
センター長
広島大学病院　放射線腫瘍学　教授
**永田　靖**

より高精度な放射線治療を提供できる医療体制を整えるため、平成27年10月1日に「広島がん高精度放射線治療センター・HIPRAC（ハイプラック）」を開設しました。

広島市内4基幹病院の連携により、専門性の高い医師とスタッフ、最新の治療装置を導入。生活スタイルを変えずに通院しながらがんを治す、身体的にも精神的にも負担の少ない先端的な放射線治療を提供します。

広島がん高精度放射線治療センター顧問
テキサス大学MDアンダーソンがんセンター
放射線腫瘍学　教授
**リツコ コマキ**

日本は、放射線治療を受けるがん患者数が米国に比べて少数となっています。

しかしながら、これからの日本はがん患者数も増加し、放射線治療が治療の第一選択肢とされるがんも増えていくと思います。

そのためには、がん細胞の広がりを正確に見定め、病気の部分に確実に照射する必要があります。

私の育った広島に、高精度な放射線治療ができる装置を複数台導入する放射線治療センターができたので、大いに期待をしています。

## 施設概要

| | |
|---|---|
| 開設 | 広島県 |
| 運営 | 一般社団法人　広島県医師会 |
| 建設地 | 広島市東区二葉の里三丁目 |
| 施設計画 | 敷地面積：6、000.00㎡ |
| | 延床面積：4、550.84㎡ |
| | 地下1階、地上2階建 |
| 構造設備 | リニアック治療室、診察室、検査室、患者待合スペース等 |
| 医療機器 | 高精度リニアック装置3台（5台まで設置可能な構造）、 |
| | CTシミュレータ、MRI装置、治療計画装置等 |
| 人員体制 | 医師〈放射線腫瘍医〉：4名／医学物理士：4名 |
| | 診療放射線技師：10名／看護師：8名／事務：3名 |
| | ※開設時の人員体制 |
| 機能 | ●高精度放射線治療を中心とした放射線治療を実施 |
| | （無床で、通院治療を原則） |
| | ●紹介元医療機関で検査・診断された患者を治療 |
| | ●医療従事者（放射線腫瘍医、医学物理士など）の研修 |
| | を受入れて人材育成を実施 |

広島駅から歩いて5分。立地条件を生かし、高精度な放射線治療が適応となる患者を広く県内外から受け入れます。

HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター［ハイプラック］

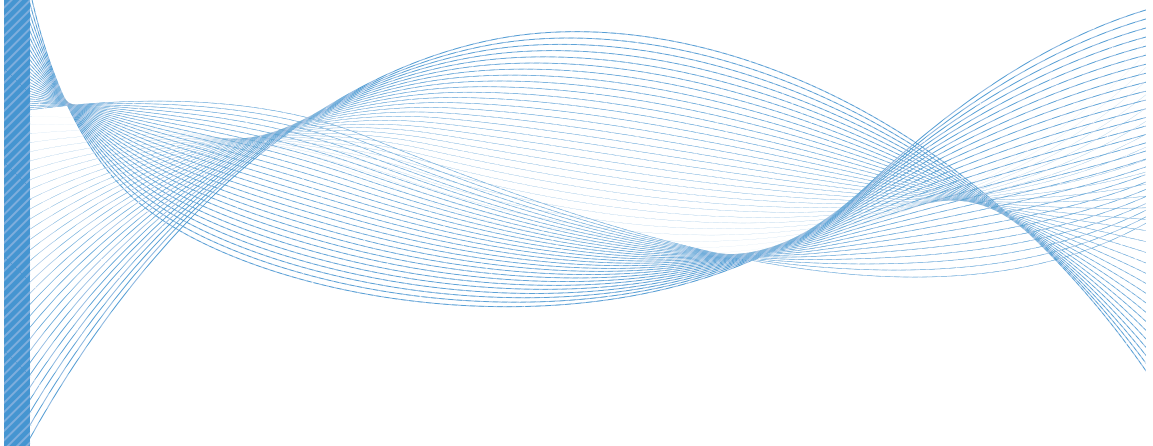
「HIPRAC」は、広島がん高精度放射線治療センターの英語表記である「Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer center」の頭文字等を組み合わせたものです。
ロゴマークは、「HIPRAC」の頭文字「H」を使用し、デザイン化。カラダの内部（患部）にまっすぐ進む「放射線」と、放射線治療によって患者が新たに開く「人生の扉（未来）」という2つの意味を表現しています。


お問い合わせ

**広島がん高精度放射線治療センター**
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番2号
URL. http://www.hiprac.com/
TEL.082-263-1330　FAX.082-263-1331


ハイプラック
http://www.hiprac.com/

# がん医療を　より高度に　より優しく



## がん対策日本一をめざして、広島にがん放射線治療の新拠点が誕生

# 広島がん高精度放射線治療センター

HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター［ハイプラック］

# 広島がん高精度放射線治療センター
# 「HIPRAC(ハイプラック)」は、からだに優しく、より質の高い先端的な放射線治療を提供します。

## ■患者紹介の流れ(無床で、通院治療を原則)■

**病院・診療所**
放射線治療の適応と判断した場合は、がん診療連携拠点病院、4基幹病院、広島がん高精度放射線治療センターに患者を紹介する。

紹介

**4基幹病院 がん診療連携拠点病院※**
○広島大学病院 ○県立広島病院 ○広島市立広島市民病院 ○広島赤十字・原爆病院
診療科医が放射線治療の適応と判断し、放射線治療医が広島がん高精度放射線治療センターの治療対応方針に当てはまると判断した場合は、センターに患者を紹介する。

治療

**広島がん高精度放射線治療センター**
紹介元医療機関で検査・診断が行われている患者に対し、がんに対する高精度放射線治療を実施する。

逆紹介

**4基幹病院 がん診療連携拠点病院※**
○広島大学病院 ○県立広島病院 ○広島市立広島市民病院 ○広島赤十字・原爆病院
広島がん高精度放射線治療センターへの紹介元医療機関の放射線治療医は、診療科医との併診により、患者のフォローアップを行う。

**病院・診療所**
紹介先医療機関の放射線治療医との併診により、患者のフォローアップを行う。

※がん診療連携拠点病院:広島大学病院、県立広島病院、広島市民病院、広島赤十字・原爆病院、安佐市民病院、廣島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、呉共済病院、東広島医療センター、尾道総合病院、尾道市立市民病院、福山市民病院、福山医療センター、中国中央病院、三次中央病院

## ■センターで行う高精度放射線治療として意義の高い疾患の例■

### 前立腺がん
○早期又は局所進行期の前立腺がん(T1-4N0M0)
○骨盤内リンパ節転移陽性だが遠隔転移のない進行期の前立腺がん(T1-4N1M0)
○前立腺全摘術後のPSA再発又は手術時の切除断端が陽性の前立腺がん(遠隔転移例を除く)

### 頭頸部がん
○遠隔転移のない頭頸部がん(口腔がん・上咽頭がん・中咽頭がん・下咽頭がん・喉頭がん・唾液腺がん)(T1-4N0-3M0)
○手術後に遺残又は再発を認める頭頸部がん(遠隔転移例を除く)
○原発不明がんの頸部リンパ節転移(遠隔転移例を除く)(T0N1-3M0)

### 肺がん
○腫瘍最大径が5㎝以下で転移のない非小細胞肺がん(T1-2aN0M0)
○組織型は未確定だが画像診断で早期肺がん(T1N0M0)が強く疑われる症例
○遠隔転移のない非小細胞肺がん及び小細胞肺がん(T1-4N0-3M0)
○手術後に遺残もしくは再発を認める非小細胞肺がん(遠隔転移例を除く)
○転移性肺がんのうち、肺の病巣が最大3㎝、3個以内で他の部位に転移のない症例

### 乳がん
○乳房温存手術後の乳がん(0・I・II期)
○乳房切除術後の乳がん(0・I・II・III期)
○乳房切除術後に胸壁又はリンパ節に再発した乳がん(遠隔転移例を除く)

### 原発性脳腫瘍
○手術、生検もしくは画像診断により脳腫瘍(Grade3,4)と診断され放射線治療が必要な症例
○手術、生検もしくは画像診断により脳腫瘍(Grade1,2)と診断され、放射線治療の利点がある症例

### 高精度放射線治療装置

**Vero(ヴェロ)4DRT**

**TrueBeam(トゥルービーム)STx**

**TrueBeam(トゥルービーム)**

### 転移性脳腫瘍
○転移性脳腫瘍のうち病巣の最大径が3㎝までで個数が1～4個の症例
○個数にかかわらず放射線治療によって症状や予後の改善が期待できる転移性脳腫瘍(手術可能な症例を除く)

### 肝臓がん
○原発性肝臓がんのうち原発巣の最大径が5㎝以下でリンパ節と遠隔臓器に転移のない症例
○門脈又は下大静脈に浸潤した原発性の肝臓がん(vp1-4,vv1-3)
○転移性肝臓がんのうち、肝臓の病巣が最大3㎝、3個以内で他の部位に転移のない症例

### すい臓がん
○手術困難なすい臓がん(遠隔転移例を除く)(I-IVA期)

### その他疾患
○表記の疾患以外で放射線治療医が高精度放射線治療の適応と判断した症例